

全日本民医連 SW 各位

## 2024 年衆議院議員選挙における緊急アピール

### いのち守る政治に変えよう

民医連ソーシャルワーカーのみなさん

10月27日投票の衆議院選挙が公示されました。ぜひ、投票に行きましょう。

地震、豪雨と災害が続いた能登地方の苦闘には見向きもしない、自民党都合の衆議院解散でした。

コロナ禍や物価高、外国での戦争など、私たちや患者・利用者を取り巻く社会情勢は一向に改善せず、被災地の復興もまだまだ進んでいません。元々困難を抱えた患者・利用者の課題はますます複雑化・深刻化する一方、社会保障制度は弱体化を続けています。まさに“一度躓くと立ち上がれない”社会構造であることを、目の前の患者・利用者の言葉や姿からいつも感じていると思います。

そのような中で、いわゆる裏金問題はうやむやにされ、また、唯一の戦争被爆国でありながら、核兵器廃絶への積極的メッセージを発することもなく、防衛費には多額の税金が使われ続け、まさに国民軽視の政治が続いています。

黙ってはこの政治を許すことになります。

民医連で選挙のことを取り上げることに、またかと感じる職員も多いと思います。それでも、やはり今、あらためてこの選挙を通して社会に向き合しましょう。

**『クライアント(患者・利用者)の抱える困難は、自己責任ではなく、社会の課題である。』**

わたしたち民医連ソーシャルワーカーは、その視点でケースをとらえ支援しています。社会の課題、それは政治の問題です。選挙について考える、投票することは、目の前の患者・利用者の生活を守ること、そして私たちの生活をよくすることに必ずつながります。「非戦・人権・くらし」に視点を置いた政治を目指し、投票して社会を変えましょう。

2024年10月16日

第46期全日本民医連ソーシャルワーカー委員会一同

